

東証プライム 4631

# DIC株式会社

2024年度第1四半期決算説明資料

2024年5月



FTSE Blossom  
Japan



S&P/JPX  
カーボン  
エフィシエント  
指数

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
Powered by the S&P Global CSA



MSCI Japan ESG  
Select Leaders Index



Color & Comfort

**DIC株式会社**

# ハイライト

## 1Qの振り返り

### 売上高

2,558億円

前年同期比 +0.2%

### 営業利益

85億円

前年同期比 +41.7%

### 親会社株主に帰属 する四半期純利益

△28億円

前年同期比 赤字化

## 通期の見通し

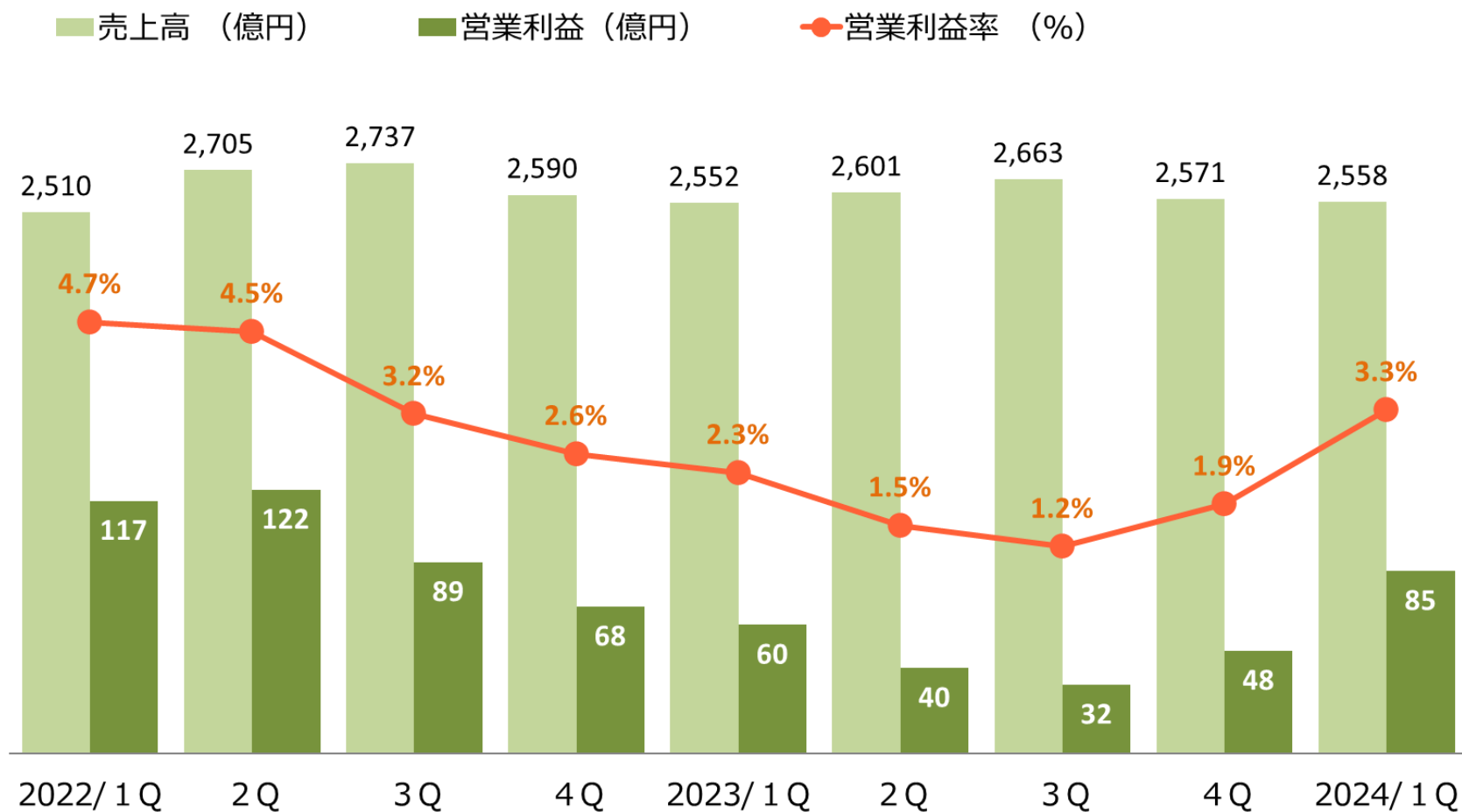
上期の四半期純利益を上方修正  
通期見通しは変更なし

- パッケージ用インキは、海外ではインフレ圧力の緩和による消費財需要の戻りに応じて出荷数量が増加した。エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷は概ね回復傾向となった
- エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の出荷数量が回復傾向となり、品目構成が改善したことに加え、値下げ圧力があるなか米州や欧州で印刷インキの販売価格維持に努めた結果、増益
- 2024年1月15日付で連結子会社である星光PMC株式会社の全保有株式を、同社の自己株式取得により譲渡した。これに伴う関係会社株式売却損や、欧米顔料事業の構造改革費用の計上により、特別損失が増加したため赤字化
- 2Qに液晶材料事業に関連した知的財産の譲渡による特別利益の計上を予定しているため、上期の四半期純利益を上方修正。通期の見通しには織り込み済みであったため、通期見通しに変更なし
- 年間配当は100円の計画で変更なし

当社グループの決算期は、海外子会社・国内会社ともに1月1日から12月31日までの12ヶ月を連結対象期間としています。当期は、2024年1月1日から3月31日までの3ヶ月間を連結対象期間として記載しています。

# 四半期業績推移

- 営業利益は2023年第3四半期を底に改善しつつある



# セグメント別 主要製品の四半期出荷数量の前年同期比推移

## パッケージング&グラフィック (パッケージ用インキ、出版用インキ※)

2023年				2024年
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
△8%	△10%	△8%	△4%	△1%

- 米州・欧州では、インフレ圧力の緩和による消費財需要の戻りによりパッケージ用インキの出荷数量が増加した
- 日本では、物価上昇の影響により消費財の需要が低調となり、パッケージ用インキの出荷数量が減少した

※新聞インキを含む

## カラー&ディスプレイ (顔料製品)

2023年				2024年
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
△18%	△17%	△11%	△9%	△4%

- スペシャリティ用を除き顧客の在庫調整が終了した結果、当社の受注状況は改善しつつあるが、欧州や米国において想定よりも需要の回復が遅れている
- ディスプレイ用顔料は、パネルメーカーの在庫調整を受け減少。3月以降はパネルメーカーの稼働率改善に伴い、当社の出荷も増加する見通し

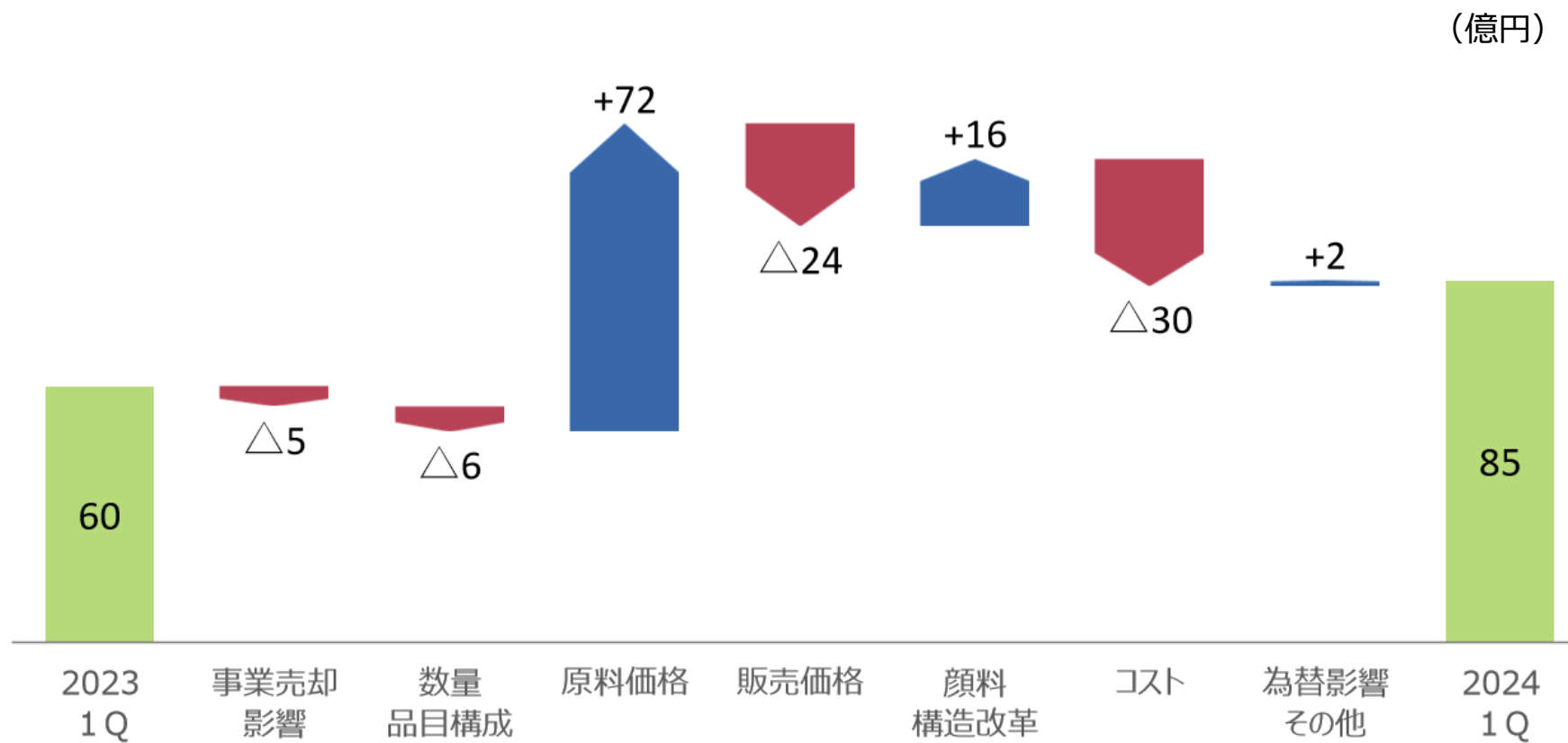
## ファンクショナルプロダクツ (数量をkg単位で計測している製品)

2023年				2024年
1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
△15%	△10%	△4%	0%	△1%

- モビリティに関連した製品は、サプライチェーン上の余剰在庫の解消が進み、出荷数量が回復傾向にある
- 電気・電子やディスプレイを中心とするデジタル分野では、サーバーやPC、スマホ向けが好調となったエポキシ樹脂を中心に出荷数量が回復しつつあるが、本格的な回復は下期となる見通し
- 一方で一般工業用や住宅建築インフラ用の製品は、引き続き出荷が低迷した

# 営業利益増減要因

- 原料が前年対比で下落傾向にあるなか、海外の印刷用インキを中心に販売価格の維持に努め、増益



# セグメント別業績

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 1Q	2024 1Q
<b>パッケージング&amp;グラフィック</b>	1,315	<b>1,374</b>	59	+ 4.5%	△1.6%	36	<b>73</b>	37	+ 102.8%	+ 95.3%	2.7%	<b>5.3%</b>
日本	304	<b>297</b>	△ 7	△2.4%	△2.4%	5	<b>15</b>	10	+ 206.5%	+ 206.5%	1.6%	<b>5.0%</b>
米州・欧州	862	<b>904</b>	43	+ 4.9%	△2.8%	26	<b>46</b>	20	+ 78.3%	+ 73.6%	3.0%	<b>5.1%</b>
アジア他	190	<b>212</b>	23	+ 11.9%	+ 3.9%	7	<b>14</b>	8	+ 115.9%	+ 100.3%	3.4%	<b>6.6%</b>
連結調整	△ 40	△ <b>39</b>	1	-	-	△ 1	△ <b>2</b>	△ 1	-	-	-	-
<b>カラー&amp;ディスプレイ</b>	605	<b>635</b>	30	+ 4.9%	△4.0%	14	△ <b>5</b>	△ 19	赤字化	赤字化	2.3%	-
日本	81	<b>74</b>	△ 7	△8.2%	△8.2%	10	<b>10</b>	0	+ 3.7%	+ 3.7%	12.4%	<b>14.0%</b>
海外	555	<b>595</b>	40	+ 7.2%	△3.1%	4	△ <b>14</b>	△ 18	赤字化	赤字化	0.6%	-
連結調整	△ 31	△ <b>35</b>	△ 4	-	-	0	△ <b>1</b>	△ 1	-	-	-	-
<b>ファンクショナルプロダクト</b>	734	<b>651</b>	△ 83	△11.3%	△14.2%	31	<b>40</b>	9	+ 29.2%	+ 22.0%	4.2%	<b>6.2%</b>
日本	500	<b>417</b>	△ 83	△16.6%	△16.6%	11	<b>24</b>	12	+ 107.7%	+ 107.7%	2.3%	<b>5.7%</b>
海外	298	<b>310</b>	11	+ 3.8%	△4.0%	19	<b>17</b>	△ 2	△12.0%	△20.0%	6.5%	<b>5.5%</b>
連結調整	△ 64	△ <b>76</b>	△ 12	-	-	0	△ <b>0</b>	△ 1	-	-	-	-
その他、全社・消去	△ 102	△ <b>102</b>	△ 0	-	-	△ 21	△ <b>24</b>	△ 3	-	-	-	-
<b>連結合計</b>	2,552	<b>2,558</b>	6	+ 0.2%	△5.5%	60	<b>85</b>	25	+ 41.7%	+ 32.8%	2.3%	<b>3.3%</b>
USD/円	133.02	<b>147.58</b>		+ 10.9%		133.02	<b>147.58</b>		+ 10.9%			
EUR/円	142.71	<b>160.12</b>		+ 12.2%		142.71	<b>160.12</b>		+ 12.2%			

# パッケージング&グラフィック

## 売上高

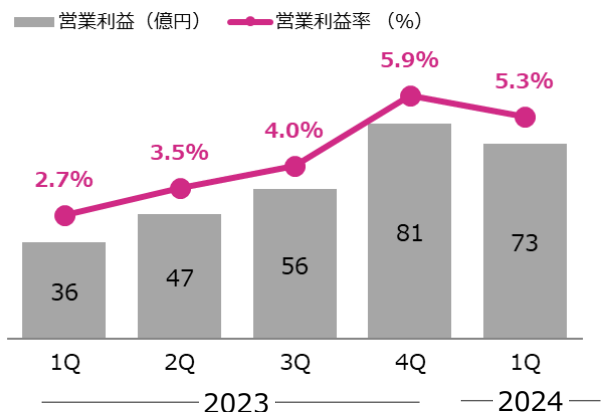
- 日本では物価上昇の影響により消費財の需要が低調となり、出荷数量が減少した。販売価格の改定が進んだが、全体としては減収となった
- 米州・欧州ではパッケージ用インキの出荷数量が増加したが、原料価格下落に伴う値下げにより現地通貨ベースでは減収となった
- アジアでは中国で顧客開拓が進み、増収

## 営業利益

- 日本では高付加価値製品であるジェットインキの出荷数量が増加したことに加え、遅れていた印刷インキのコスト増加分の販売価格への転嫁が進み、増益
- 海外では原料価格が下落局面にあるなか、販売価格の維持に努めたことにより、増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 1Q	2024 1Q
<b>パッケージング&amp;グラフィック</b>	1,315	<b>1,374</b>	59	+ 4.5%	△1.6%	36	<b>73</b>	37	+ 102.8%	+ 95.3%	2.7%	<b>5.3%</b>
日本	304	<b>297</b>	△ 7	△2.4%	△2.4%	5	<b>15</b>	10	+ 206.5%	+ 206.5%	1.6%	<b>5.0%</b>
米州・欧州	862	<b>904</b>	43	+ 4.9%	△2.8%	26	<b>46</b>	20	+ 78.3%	+ 73.6%	3.0%	<b>5.1%</b>
アジア他	190	<b>212</b>	23	+ 11.9%	+ 3.9%	7	<b>14</b>	8	+ 115.9%	+ 100.3%	3.4%	<b>6.6%</b>
連結調整	△ 40	△ <b>39</b>	1	-	-	△ 1	△ <b>2</b>	△ 1	-	-	-	-

### 四半期営業利益/営業利益率



### 主要製品の売上高推移

製品名	増減比	説明
パッケージ用インキ*	0%	海外では出荷数量が増加したが、原料価格の下落に伴う値下げにより前年並み
出版用インキ*	△9%	アジアでは顧客開拓により増収、その他の地域は減収となった
ジェットインキ	+ 29%	顧客の在庫調整が終了し、出荷数量が増加
ポリスチレン	△7%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少
多層フィルム	△9%	食品価格の値上がりにより食品包装用の需要が減少

\*現地通貨ベース増減比

# カラー&ディスプレイ

## 売上高

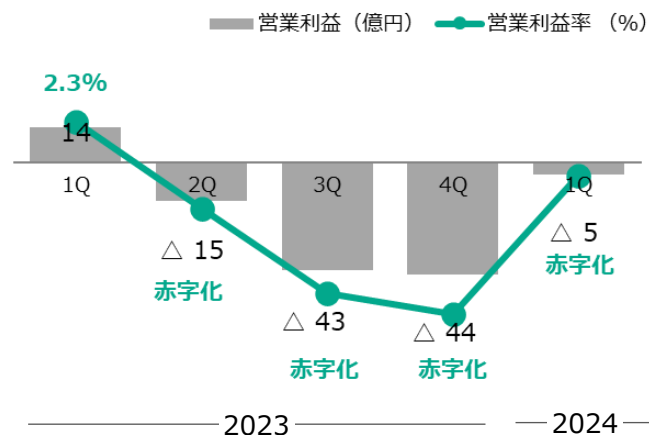
- 一部の用途を除き顧客の在庫調整が終了したため当社の受注は増加傾向だが、前年には届かず、現地通貨ベースで減収となった

## 営業利益

- 出荷数量の減少において、高付加価値製品であるディスプレイ用顔料等の出荷が減少したことにより、減益
- 2024年に入ってからの工場稼働率の改善により、前四半期よりも赤字幅は縮小。構造改革を推進し、更なる収益性の改善に努める

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 1Q	2024 1Q
カラー&ディスプレイ	605	635	30	+ 4.9%	△4.0%	14	△ 5	△ 19	赤字化	赤字化	2.3%	-
日本	81	74	△ 7	△8.2%	△8.2%	10	10	0	+ 3.7%	+ 3.7%	12.4%	14.0%
海外	555	595	40	+ 7.2%	△3.1%	4	△ 14	△ 18	赤字化	赤字化	0.6%	-
連結調整	△ 31	△ 35	△ 4	-	-	0	△ 1	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比*	説明
顔料 塗料用	+ 3%	自動車塗料用は増加したが、一般工業塗料用の回復は遅れている
プラスチック用	0%	在庫調整の終了により受注は増加傾向だが、回復は緩やか
インキ用	△3%	在庫調整の終了により受注は増加傾向だが、回復は緩やか
化粧品用	△3%	米国や欧州で出荷が伸び悩んだ
ディスプレイ用	△12%	パネルメーカーの在庫調整に伴い出荷が減少した
スペシャリティ用	△8%	農業向けの在庫調整が続き、減収

\*現地通貨ベース増減比



# ファンクショナルプロダクツ

## 売上高

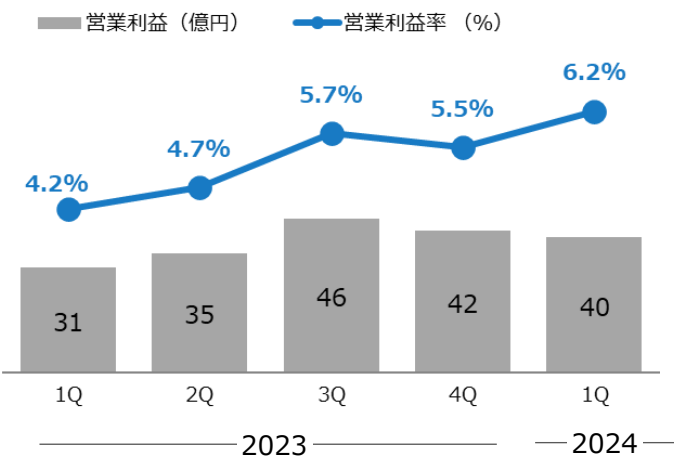
- ・ エレクトロニクスやモビリティに関連する高付加価値製品の回復傾向が鮮明となったが、一般工業用や住宅建築インフラ用の製品は引き続き出荷が低迷した
- ・ 星光PMCの売却等の事業撤退の影響を除外した場合の売上高は増収となった

## 営業利益

- ・ エレクトロニクスやモビリティに関連した高付加価値製品の出荷が増加し品目構成が改善したことや、価格対応に努めたことにより、増益

(億円)	売上高					営業利益					営業利益率	
	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	現地通貨 ベース 増減比	2023 1Q	2024 1Q
<b>ファンクショナルプロダクツ</b>	734	<b>651</b>	△ 83	△11.3%	△14.2%	31	<b>40</b>	9	+ 29.2%	+ 22.0%	4.2%	<b>6.2%</b>
日本	500	<b>417</b>	△ 83	△16.6%	△16.6%	11	<b>24</b>	12	+ 107.7%	+ 107.7%	2.3%	<b>5.7%</b>
海外	298	<b>310</b>	11	+ 3.8%	△4.0%	19	<b>17</b>	△ 2	△12.0%	△20.0%	6.5%	<b>5.5%</b>
連結調整	△ 64	<b>△ 76</b>	△ 12	-	-	0	<b>△ 0</b>	△ 1	-	-	-	-

四半期営業利益/営業利益率



主要製品の売上高推移

製品	増減比	製品	増減比
エポキシ樹脂	+ 2%	PPSコンパウンド	+ 5%
工業用テープ	+ 20%	アクリル樹脂	+ 1%
UV硬化型樹脂	+ 10%	ウレタン樹脂	△1%
		水性樹脂	+ 8%
		ポリエステル樹脂	+ 5%
		中空糸膜モジュール	△5%

エポキシ樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂等のエレクトロニクスを主用途とする製品は、出荷が改善した。アクリル樹脂はモビリティ向けは好調だったが、住宅建設インフラ向けが減少した。ウレタン樹脂もモビリティは好調だったが、一般消費財等の他の用途が低迷した

## ファンクショナルプロダクツ 補足資料

- 星光PMC等の事業撤退影響を補正した場合の業績

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	2023 1Q	2024 1Q
ファンクショナルプロダクツ	734	651	△ 83	△11.3%	31	40	9	+ 29.2%	4.2%	6.2%
撤退した事業	101				5					
補正後 ファンクショナルプロダクツ	634	651	17	+ 2.8%	26	40	14	+ 52.9%	4.2%	6.2%

- ファンクショナルプロダクツに含まれているケミ트로ニクス事業本部の業績

(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	2023 1Q	2024 1Q	増減	増減比	2023 1Q	2024 1Q
ケミ트로ニクス事業本部	117	132	15	+ 12.7%	11	16	5	+ 47.8%	9.0%	11.8%

エレクトロニクス仕様の化学や素材を軸とした事業を「ケミ트로ニクス」と定義して、分散していた経営リソースをこの事業本部に集中した。「製・販・技」一体の組織とし、意思決定の迅速化を図ることで、技術革新のスピードが速く、スピーディーな対応が求められるエレクトロニクス分野で事業拡大していく

主な製品：エポキシ樹脂等のパッケージ基板・プリント基板向けの熱硬化性樹脂、工業用テープ、UV硬化型樹脂、フォトレジスト用樹脂・化合物、界面活性剤

# 連結損益計算書

(億円)	2023 1Q	2024 1Q	増 減	増減比	現地通貨ベース 増減比
<b>売上高</b>	<b>2,552</b>	<b>2,558</b>	<b>6</b>	<b>+ 0.2%</b>	<b>△5.5%</b>
売上原価	△ 2,073	△ 2,034	39		
販売費及び一般管理費	△ 419	△ 439	△ 20		
<b>営業利益</b>	<b>60</b>	<b>85</b>	<b>25</b>	<b>+ 41.7%</b>	<b>+ 32.8%</b>
<b>営業利益率</b>	<b>2.3%</b>	<b>3.3%</b>	-		
金融収支	△ 10	△ 13	△ 3		
持分法投資損益	2	△ 1	△ 3		
為替差損益	△ 4	2	6		
その他	△ 2	△ 6	△ 4		
<b>経常利益</b>	<b>46</b>	<b>66</b>	<b>21</b>	<b>+ 45.3%</b>	
特別利益	-	-	-		
特別損失	△ 6	△ 74	△ 67		
税前利益	39	△ 7	△ 47		
法人税等	△ 19	△ 18	1		
四半期純利益	21	△ 25	△ 46		
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 2	△ 3	△ 1		
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>19</b>	<b>△ 28</b>	<b>△ 47</b>	<b>赤字化</b>	
<b>EBITDA*</b>	<b>170</b>	<b>130</b>	<b>△ 40</b>	<b>△23.5%</b>	

## 特別損益の内訳

### 特別損失

	2023 1Q	2024 1Q
関係会社株式及び出資金売却損	-	△ 45
リストラ関連退職損失	△ 4	△ 23
固定資産処分損	△ 2	△ 4
減損損失	-	△ 1

### ■ 平均レート

	2023 1Q	2024 1Q
USD/円	133.02	147.58
EUR/円	142.71	160.12

\*EBITDA：親会社株主に帰属する四半期純利益＋法人税等合計＋支払利息－受取利息＋減価償却費＋のれん償却額

# 財務体質

(億円)	2023 期末	2024 1Q末	増減
ネット有利子負債	4,414	4,424	10
自己資本	3,639	3,787	148
ネットD/Eレシオ *1	1.21倍	1.17倍	
自己資本比率	29.2%	29.8%	
1株当たり純資産 (円)	3,844.70	4,000.61	

⚠ 円安による為替換算調整勘定拡大により自己資本が増加

\*1 ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債／自己資本

## ■ 期末レート

	2023 期末	2024 1Q末
USD/円	141.32	151.36

## 上期の業績見通し

- 2Qに液晶材料事業に関連した知的財産の譲渡による特別利益として約35億円の計上を予定しているため、上期の四半期純利益を上方修正（詳細は、P.16ページ）
- 通期の見通しには織り込み済みであったため、通期見通しに変更なし

(億円)		2023 2Q	2024 2Q見通し	増減比	前回見通し
<b>売上高</b>		5,153	<b>5,400</b>	+ 4.8%	5,400
<b>営業利益</b>		100	<b>150</b>	+ 50.6%	150
営業利益率		1.9%	<b>2.8%</b>	—	2.8%
<b>経常利益</b>		71	<b>120</b>	+ 68.0%	120
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>		10	<b>0</b>	△100.0%	△ 60
1株当たり純利益 (円)		10.53	<b>0.00</b>	—	△63.39
平均レート	USD/円	135.88	<b>145.00</b>	+ 6.7%	145.00
	EUR/円	146.91	<b>156.60</b>	+ 6.6%	156.60

# 通期の業績見通し

## ■ 通期業績見通しに変更なし

(億円)	2023	2024 見通し	増減比	
売上高	10,387	<b>11,000</b>	+ 5.9%	
営業利益	179	<b>300</b>	+ 67.2%	
営業利益率	1.7%	<b>2.7%</b>	-	
経常利益	92	<b>250</b>	+ 171.3%	
親会社株主に帰属する当期純利益	△399	<b>100</b>	黒字化	
1株当たり純利益 (円)	△421.06	<b>105.64</b>	-	
EBITDA*1	308	<b>820</b>	+ 166.0%	
設備投資・投融資	733	<b>631</b>	△13.9%	
減価償却費・のれん償却額	531	<b>539</b>	+ 1.5%	
平均レート				
	USD/円	140.51	<b>145.00</b>	+ 3.2%
	EUR/円	151.98	<b>156.60</b>	+ 3.0%

	2023	2024 見通し
ROIC*2	1.5%	<b>2.6%</b>
ネットD/Eレシオ *3	1.21倍	<b>1.13倍</b>
年間配当/株 (円)	80.0	<b>100.0</b>
配当性向	-	<b>94.7%</b>

\*2ROIC：営業利益×(1-実効税率28%) / (ネット有利子負債+純資産)

\*3ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債/自己資本

\*1EBITDA：親会社株主に帰属する当期純利益+法人税等合計+支払利息-受取利息+減価償却費+のれん償却額

# 通期のセグメント別業績見通し

## 2024年2月13日発表の見通しを据え置き


(億円)	売上高				営業利益				営業利益率	
	2023	2024 見通し	増減	増減比	2023	2024 見通し	増減	増減比	2023	2024 見通し
<b>パッケージング&amp;グラフィック</b>	5,419	<b>5,779</b>	359	+ 6.6%	220	<b>225</b>	6	+ 2.6%	4.1%	<b>3.9%</b>
日本	1,240	<b>1,301</b>	62	+ 5.0%	46	<b>49</b>	3	+ 6.3%	3.7%	<b>3.8%</b>
米州・欧州	3,490	<b>3,711</b>	221	+ 6.3%	131	<b>127</b>	△ 4	△3.2%	3.8%	<b>3.4%</b>
アジア他	825	<b>909</b>	84	+ 10.1%	42	<b>49</b>	8	+ 18.2%	5.1%	<b>5.4%</b>
連結調整	△ 135	△ <b>142</b>	△ 7	-	1	<b>0</b>	△ 1	-	-	-
<b>カー&amp;ディスプレイ</b>	2,273	<b>2,752</b>	480	+ 21.1%	△ 89	<b>40</b>	128	黒字化	-	<b>1.4%</b>
日本	320	<b>375</b>	55	+ 17.1%	41	<b>52</b>	11	+ 27.2%	12.8%	<b>13.9%</b>
海外	2,095	<b>2,545</b>	451	+ 21.5%	△ 130	△ <b>12</b>	117	赤字減	-	-
連結調整	△ 142	△ <b>168</b>	△ 26	-	0	<b>0</b>	△ 0	-	-	-
<b>ファンクショナルプロダクト</b>	3,059	<b>2,922</b>	△ 137	△4.5%	154	<b>156</b>	1	+ 0.8%	5.0%	<b>5.3%</b>
日本	2,029	<b>1,778</b>	△ 251	△12.4%	70	<b>68</b>	△ 2	△2.9%	3.4%	<b>3.8%</b>
海外	1,302	<b>1,419</b>	117	+ 9.0%	85	<b>88</b>	3	+ 3.9%	6.5%	<b>6.2%</b>
連結調整	△ 272	△ <b>275</b>	△ 3	-	0	<b>0</b>	△ 0	-	-	-
その他、全社・消去	△ 364	△ <b>454</b>	△ 90	-	△ 106	△ <b>121</b>	△ 15	-	-	-
<b>連結合計</b>	10,387	<b>11,000</b>	613	+ 5.9%	179	<b>300</b>	121	+ 67.2%	1.7%	<b>2.7%</b>
USD/円	140.51	<b>145.00</b>		+ 3.2%	140.51	<b>145.00</b>		+ 3.2%		
EUR/円	151.98	<b>156.60</b>		+ 3.0%	151.98	<b>156.60</b>		+ 3.0%		

## 企業価値向上に向けた取り組み 1 – 液晶材料事業からの撤退並びに関連する知的財産の譲渡

- カラー & ディスプレイセグメントの**液晶材料事業**は、中国後発メーカー参入による価格競争の激化により収益性が悪化
  - 当該事業の継続は困難と判断し、**2024年12月末までに撤退**することを決定
  - 撤退事業の一部の事業範囲及び資産に関しては、現ビジネスの継続を前提とした第三者への譲渡交渉を進めている
  - うち、知的財産については、石家荘誠志永華顕示材料有限公司（Slichem社）に譲渡することで合意に至ったため、  
該社とのあいだで譲渡契約を締結
- 2Qに知的財産譲渡に伴う特別利益として約35億円を計上予定（業績見通しに織り込み済み）

メリハリのある経営資源の配分を徹底し、収益性が高い成長事業に経営資源を集中投入することで、企業価値の向上を目指す

### ニュースリリース

2024年3月25日 液晶材料事業からの撤退並びに関連する知的財産の譲渡に関するお知らせ 

<https://www.dic-global.com/ja/news/2024/ir/20240325085120.html>




## 企業価値向上に向けた取り組み 2 – 価値共創委員会の設立および運営開始

- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の一環として、「**価値共創委員会**」を設立した
  - 長期的な企業価値向上について**外部の視点から取締役会に助言**することを目的に、**社外取締役のみで構成された委員会**
  - 審議テーマは、ROICの改善策や保有資産の有効活用策、美術館運営といった、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関連する事項全般を想定
  - テーマに応じて社外有識者をアドバイザーとして招聘。高次かつ広範な見地から様々な経営課題を議論し、取締役会に助言する
- 2024年4月26日に、**第1回価値共創委員会を開催した**
- 「美術館運営」を審議テーマとして、企業内美術館として運営している**DIC川村記念美術館の現状について討議**が為された

### 今後の予定

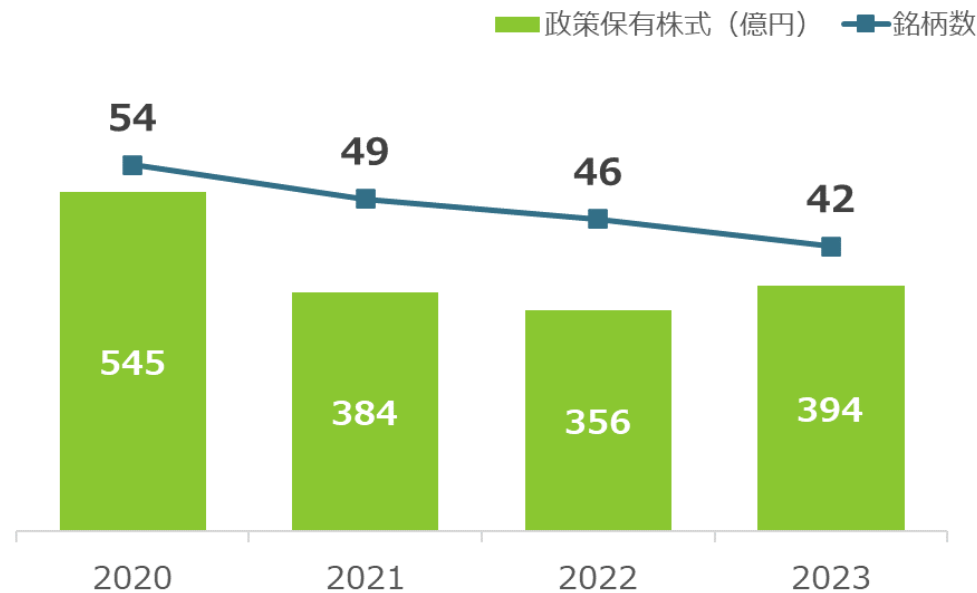
「美術館運営」に関する本委員会における審議結果を受けた取締役会における決定内容は、**8月末までに中間報告を、12月末までに最終報告を公表する**

### ニュースリリース

2024年4月26日 価値共創委員会の設立および運営開始に関するお知らせ   
<https://www.dic-global.com/ja/news/2024/ir/20240425130121.html>

## 企業価値向上に向けた取り組み3 - 政策保有株式の縮減

- 毎年、取締役会において保有意義を検証し、継続的に縮減に努めている
- 2026年度までに純資産に対する政策保有株式の比率（時価総額）を4%以下とすることを目標に削減に取り組む



- ✓ 2023年度は4銘柄削減、41億円分の政策保有株式を売却
- ✓ 保有銘柄の評価アップにより、政策保有株式の金額は前年から増加
- ✓ 2023年度末の純資産に対する比率は10%
- ✓ 引き続き、時価総額ベースで比率を4%以下にすることを目標に取り組む

※政策保有株式には、みなし保有株式を含む

※非上場株式は含めていない

## その他の主なトピックス (2024年2月～4月)

ニュースリリース  
<https://www.dic-global.com/ja/news/2024/> 

2月 S&P Global社による「The Sustainability Yearbook 2024」にサステナビリティに優れた企業として6年連続で掲載

2月 200℃以上の耐熱性とリサイクル性を備える革新的なエポキシ樹脂硬化剤の基本技術を開発


3月 インドIDEAL社でコーティング用樹脂の新工場を開所し本格稼働開始

3月 「健康経営優良法人 大規模法人部門（ホワイト500）」に7年連続で認定

3月 「Nextなでしこ 共働き・共育て支援企業」に初選定






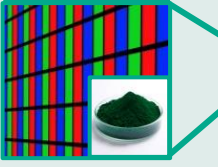





4月 自動車リサイクルにおける再生材利用拡大を目指し、自動車部品解体プロセス等の技術実証を開始

4月 有価証券報告書の英訳を当社ウェブサイトに掲載

IR Library  
[https://www.dic-global.com/pdf/ir/library/annual\\_reports/dic\\_ir\\_ar2024.pdf](https://www.dic-global.com/pdf/ir/library/annual_reports/dic_ir_ar2024.pdf) 

# 事業セグメントと主要製品

2023年度実績数値

	パッケージング&グラフィック	カラー&ディスプレイ	ファンクショナルプロダクツ
提供価値	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>5,419億円 220億円 4.1%</p> <p>包装材料を通じて社会や暮らしに「安全・安心」を提供する</p>	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>2,273億円 △89億円 -</p> <p>表示材料を通じて社会や暮らしに「彩り」を提供する</p>	<p>売上高比率 売上高 営業利益 営業利益率</p> <p>3,059億円 154億円 5.0%</p> <p>機能材料を通じて社会や暮らしに「快適」を提供する</p>
	主要製品	<p>パッケージ用インキ</p>  <p>フィルム インキ 接着剤 フィルム</p> <p>包装材料 ←ポリスチレン ↓多層フィルム</p> <p>接着剤</p>  <p>ジェットインキ</p>  <p>屋外看板用途</p>  <p>バナー用途</p> 	<p>ディスプレイ用顔料</p>   <p>化粧品用顔料</p>  <p>スペシャリティ用顔料</p> <p>農業用途</p>  <p>建材用途</p>  <p>塗料用顔料</p> <p>プラスチック用顔料</p> <p>インキ用顔料</p> 

## セグメント別四半期業績推移 (参考)

(億円)	売上高					営業利益				
	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q	2024 1Q	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q	2024 1Q
<b>パッケージング &amp; グラフィック</b>	1,315	1,350	1,384	1,369	<b>1,374</b>	36	47	56	81	<b>73</b>
日本	304	311	303	322	<b>297</b>	5	12	12	17	<b>15</b>
米州・欧州	862	873	891	864	<b>904</b>	26	29	27	49	<b>46</b>
アジア他	190	199	219	217	<b>212</b>	7	7	14	14	<b>14</b>
連結調整	△ 40	△ 33	△ 29	△ 33	△ <b>39</b>	△ 1	△ 1	2	1	△ <b>2</b>
<b>カラー &amp; ディスプレイ</b>	605	574	577	517	<b>635</b>	14	△ 15	△ 43	△ 44	△ <b>5</b>
日本	81	83	79	77	<b>74</b>	10	14	10	7	<b>10</b>
海外	555	533	536	471	<b>595</b>	4	△ 29	△ 53	△ 51	△ <b>14</b>
連結調整	△ 31	△ 42	△ 38	△ 31	△ <b>35</b>	0	0	△ 0	0	△ <b>1</b>
<b>ファンクショナルプロダクト</b>	734	759	794	772	<b>651</b>	31	35	46	42	<b>40</b>
日本	500	508	506	515	<b>417</b>	11	13	21	24	<b>24</b>
海外	298	319	357	329	<b>310</b>	19	21	26	19	<b>17</b>
連結調整	△ 64	△ 68	△ 69	△ 72	△ <b>76</b>	0	1	△ 1	△ 0	△ <b>0</b>
その他、全社・消去	△ 102	△ 83	△ 92	△ 87	△ <b>102</b>	△ 21	△ 27	△ 27	△ 31	△ <b>24</b>
<b>連結合計</b>	<b>2,552</b>	<b>2,601</b>	<b>2,663</b>	<b>2,571</b>	<b>2,558</b>	<b>60</b>	<b>40</b>	<b>32</b>	<b>48</b>	<b>85</b>

## 連結貸借対照表 (参考)

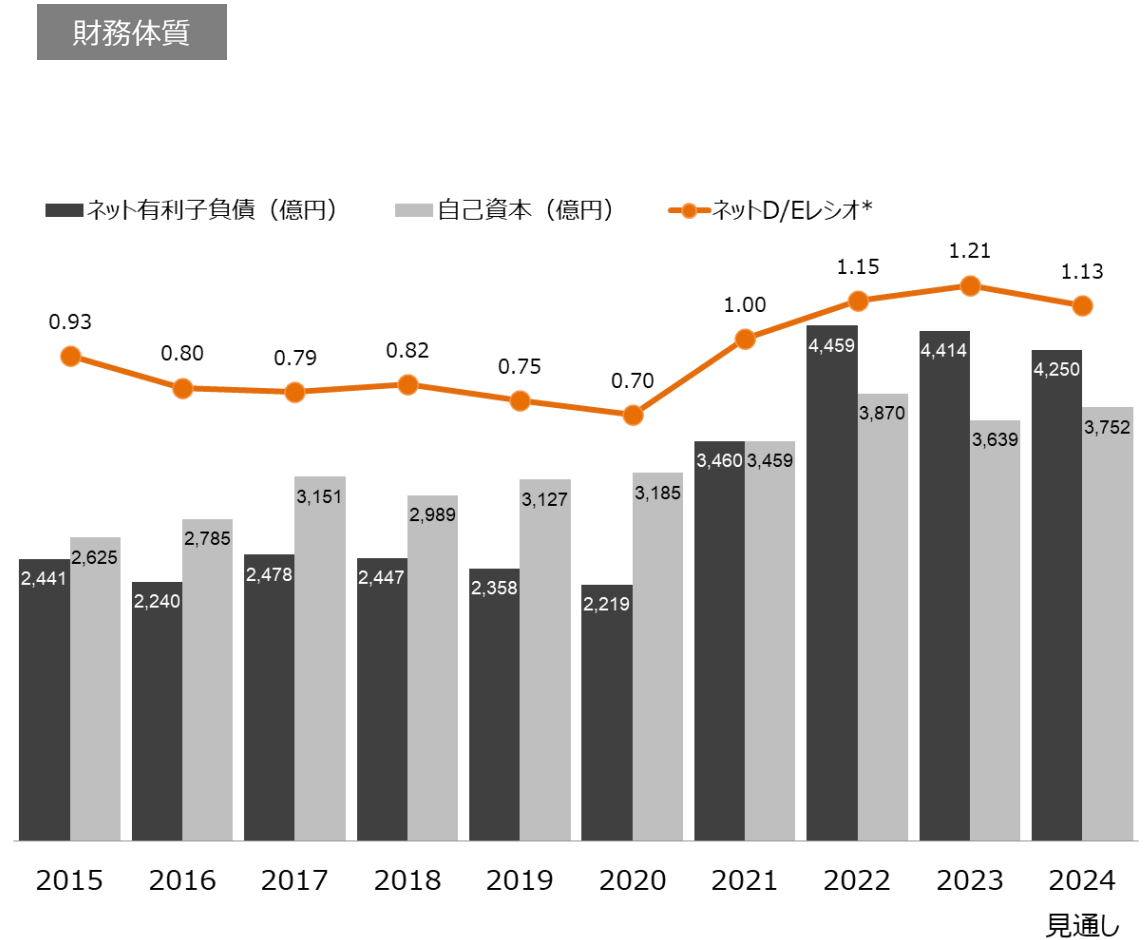
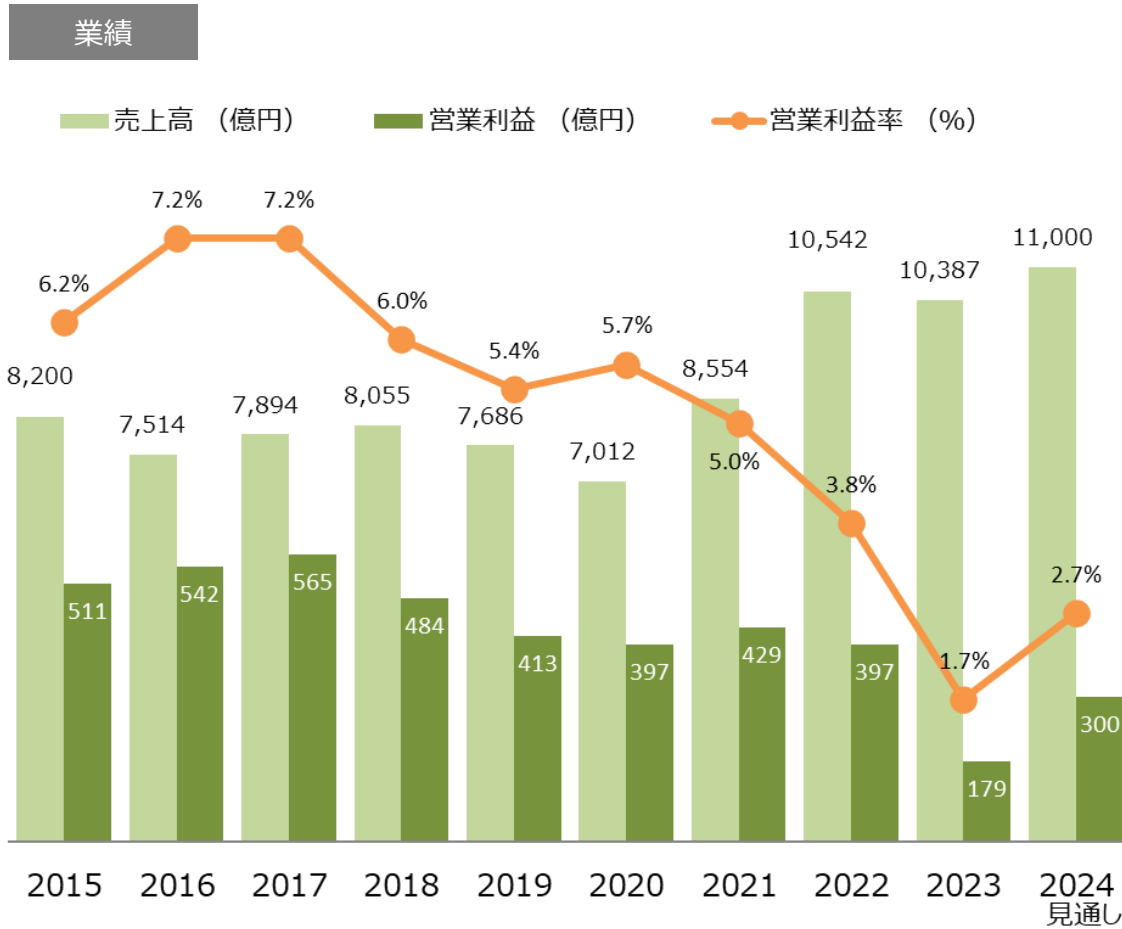
(億円)	2023 期末	2024 1Q末	増 減
流動資産	6,202	6,543	341
有形固定資産	3,739	3,631	△ 108
無形固定資産	689	711	22
投資その他の資産	1,819	1,819	0
<b>資産合計</b>	<b>12,449</b>	<b>12,704</b>	<b>255</b>
流動負債	3,487	3,634	147
固定負債	4,969	5,085	116
<b>負債合計</b>	<b>8,456</b>	<b>8,719</b>	<b>263</b>
株主資本	3,625	3,569	△ 56
その他の包括利益累計額	14	218	204
(為替換算調整勘定)	(126)	(342)	(216)
非支配株主持分	353	198	△ 156
<b>純資産合計</b>	<b>3,993</b>	<b>3,985</b>	<b>△ 8</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,449</b>	<b>12,704</b>	<b>255</b>
有利子負債残高	5,290	5,487	197
現預金残高	875	1,063	187
ネット有利子負債	4,414	4,424	10

## 連結キャッシュ・フロー計算書（参考）

（億円）	2023 1Q	2024 1Q	増 減
営業キャッシュ・フロー	△ 44	14	58
投資キャッシュ・フロー	△ 185	7	192
財務キャッシュ・フロー	602	124	△ 479
現金及び現金同等物の期末残高	980	1,045	65
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 229</b>	<b>21</b>	<b>251</b>
運転資本の増減額	△ 71	△ 85	△ 15
設備投資・投融資	181	123	△ 58
減価償却費・のれん償却額	123	127	5

注) 連結キャッシュ・フロー計算書は、レビュー対象外のため参考情報です。

# 業績の推移 (参考)



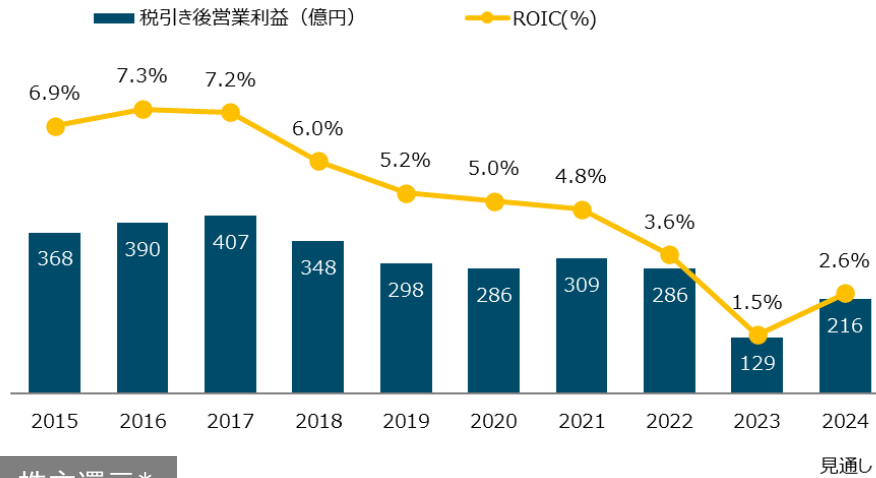
\* ネットD/Eレシオ： ネット有利子負債 / 自己資本



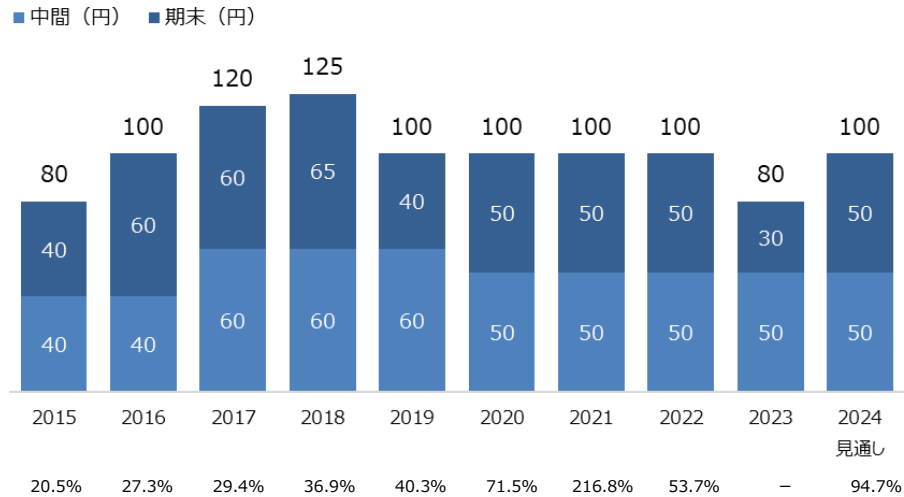
# 業績の推移 (参考)

## ROIC\*

\*ROIC : 営業利益 × (1 - 実効税率28%) / (ネット有利子負債 + 純資産)

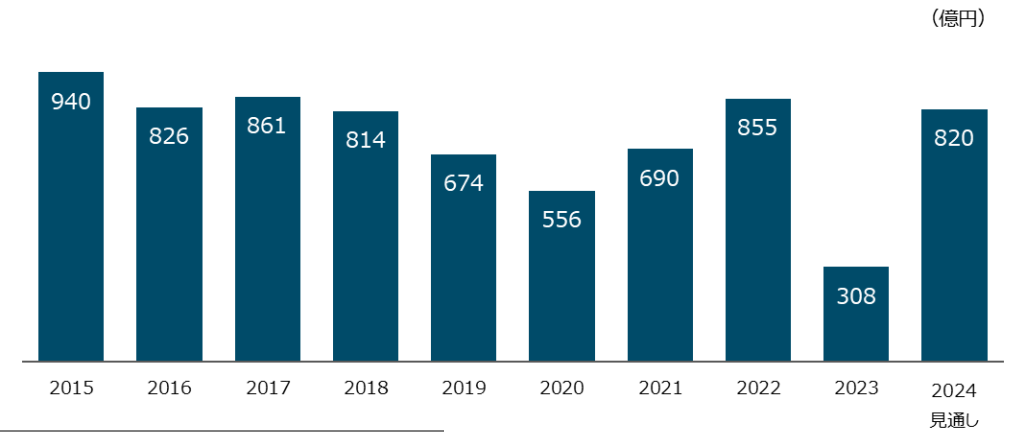


## 株主還元\*

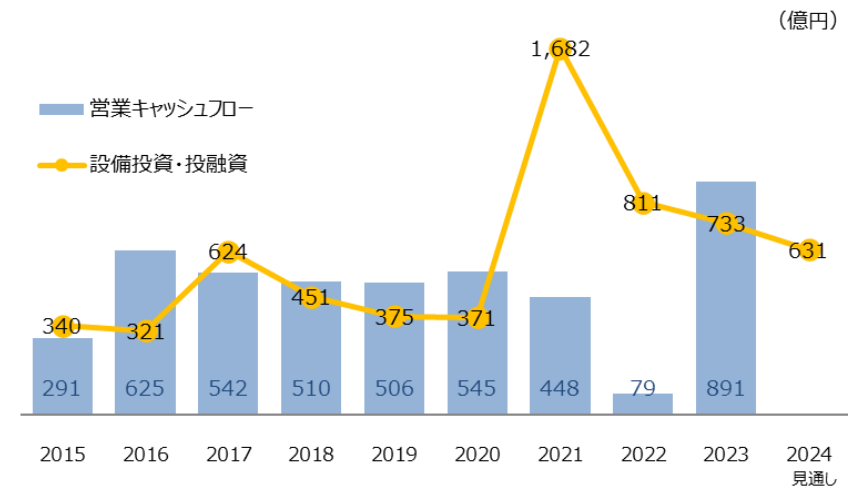


## EBITDA\*

\*EBITDA : 親会社株主に帰属する当期純利益 + 法人税等合計 + 支払利息 - 受取利息 + 減価償却費 + のれん償却額



## 設備投資・投融資・営業キャッシュフロー



\* 株式併合の影響を調整しています

## <予想に関する注意事項>

本資料は、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。  
業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、  
実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、  
当社は責任を負うものではありません。



Color & Comfort



**DIC Corporation**